

速報社NS癒しの紀行連載「湯快（ゆかい）」

第46回「西浦温泉（愛知県）」

今回は久しぶりに、東海地方の名湯を紹介しましょう。三河湾内にある「西浦半島」の先端部に沸く、西浦温泉。幻想的な夕日を眺めながら至福の時を楽しみました。

三河湾

三河湾にある西浦温泉。この温泉、半島の先にあるという条件から、三河湾の穏やかな海をぐるりと、360度見渡しつつ、その海に沈む美しい夕日を満喫することができるのです。

西浦温泉へは、東名高速の音羽蒲郡ICか岡崎ICから車で3〜4時間。電車の場合は東京を経てJR東海道線蒲郡駅から西浦温泉行きのバスに乗ります。半島の先端部にいくと、海岸沿いや、少し高台のようなところに温泉旅館やホテルがいくつも立っています。

南国テイスト

有名な旅館は8つあり、オーシャンビューの部屋も多いです。三河湾の海の幸がウリの旅館や、海に囲まれた絶景がウリの旅館、多数の温泉がある旅館、老舗の旅館：などさまざまな特徴がありますから、インターネットなどで調べてから予約するのがいいでしょう。

中でもおすすめなのは、「和のリゾートはづ」という旅館です。高台に位置し、すべての客室がオーシャンビュー。部屋は和のテイストと、アジ

アンな南国テイストが融合され、何ととっても素晴らしいのは、三河湾を一望できる、弧を描く形の展望露天風呂です。

特に、晴れた日の夕方がベスト。三河湾に沈む、幻想的な夕日を堪能しつつ、湯につかることができます。まさに極楽気分。湯から上がったら、バリ風のリゾートエステでリラククスするのもよし、エビや新鮮な魚など海の幸をふんだんに使った料理を楽しむのもよいでしょう。

桜まつり

西浦温泉の歴史は新しく、開湯したのは1953年です。泉質はアルカリ性単純温泉です。年間を通して楽しむことができ、春には、「桜まつり」が開催され、潮干狩りもできます。夏には「西浦パームビーチ」で海水浴ができるほか、マリニリゾート施設「ラグーナ蒲郡」で遊ぶのもいいでしょう。また、がん封じで知られる無量寺などもあります。

秋や冬には「夕日が彩る丘」という展望台で、夕日を眺めることもできます。また高台には「万葉の小径」があり、万葉集に描かれた花が植えられ、万葉歌人の歌碑が置かれています。

冬は雪見風呂ももちろんお勧めですが、時には夕日を眺めつつ温泉を楽しむのもいいかもしれませんよ。
(旅ライター 田代 茂)



★古紙回収サービス

速報社ニュースペーパーサービスでは、弊社取り扱い紙をご購読のお客様へのサービスの 일환として古紙回収を行っています。ご希望の方は弊社までお気軽にお電話ください。

受付時間
◆月曜〜土曜 午後1時30分〜午後5時（祝日・新聞休刊日を除きます）
回収時間
◆毎週金曜日 午後2時30分〜午後5時30分（祝日・新聞休刊日を除きます）

※申し訳ございませんが、雑誌、ダンボールの回収はお断りしております。
フリーダイヤル

(0120) 084041

◆湯快の次回発行は3月25日です。